

南城市商工会

地域経済動向調査レポート

【調査期間：令和4年7月～令和4年12月】

## I、調査概要

【調査対象】市内小規模事業者

【調査方法】調査票によるアンケート形式

【調査期間】令和4年7月～12月（6か月間）

【回答件数】40件

【回答事業者の業種内訳】

業種	数	法人	個人
製造業	10	1社	9事業者
小売業	10	1社	9事業者
建設業	10	2社	8事業者
サービス業	10	2社	8事業者
計	40	6社	34事業者

## II、調査結果

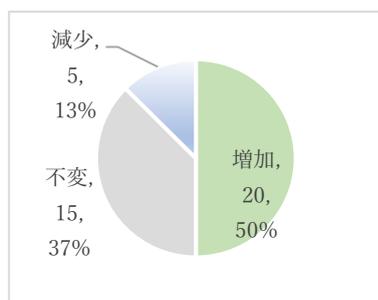
質問：今年度上半期の貴社の状況は、前年度上半期および前年度下半期と比較してどうですか。  
また、来年度同期の見通しは、今年度上半期と比較してどうですか。

### 【今年度の状況】

① 前年度同期に比べて

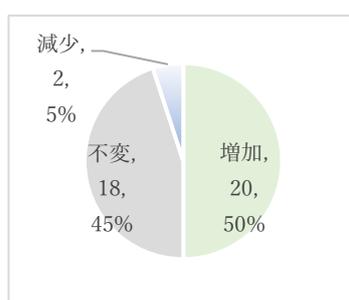
(R3年7月～R3年12月)

1、売上（加工・請負工事）額



②前期に比べて

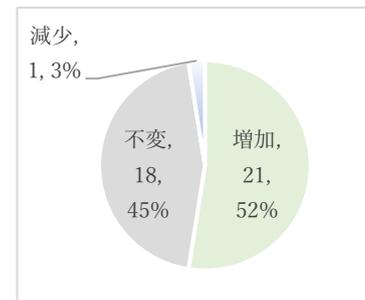
(R4年1月～R4年6月)



### 【来年度同期の見通し】

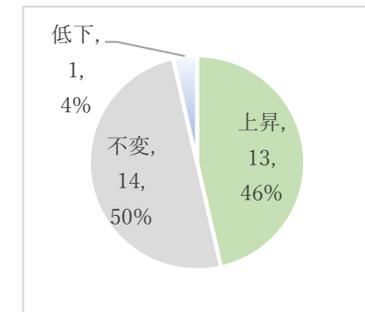
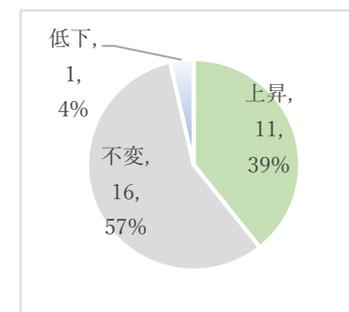
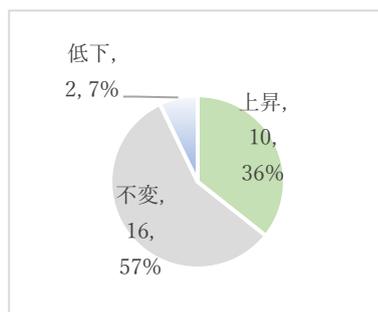
③今年度下半期と比べた来期の見通し

(R5年7月～R5年12月)



不変の回答・見込みが半数はあるが、半数は増加との回答・見込みがある。

2、客（加工・受注）単価



1の売上額と比べ、不変の回答・見込みが6割あり、4割弱は増加との回答・見込みがあり、低下は僅かである。

【今年度の状況】

【来年度同期の見通し】

① 前年度同期に比べて

②前期に比べて

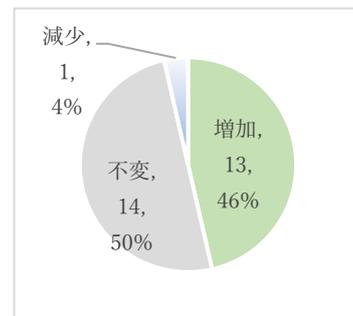
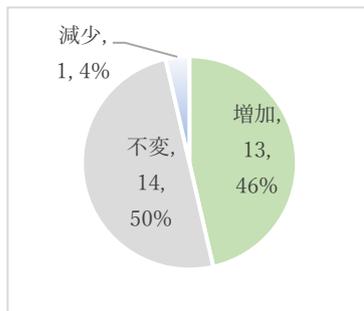
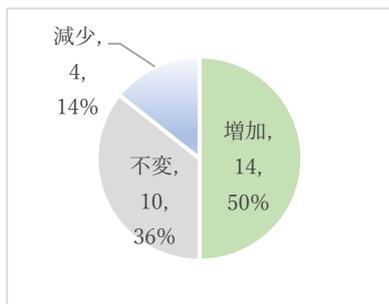
③今年度下半期と比べた来期の見通し

(R3年7月～R3年12月)

(R4年1月～R4年6月)

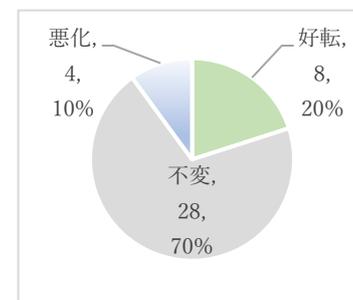
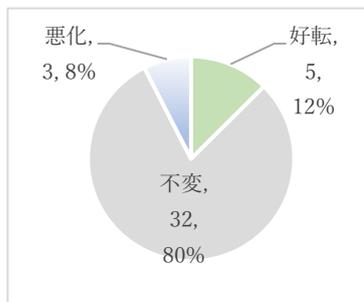
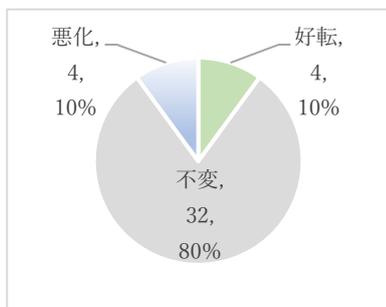
(R5年7月～R5年12月)

3、売上（利用）数 ※回答は建設業除く



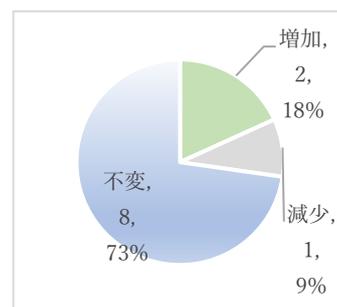
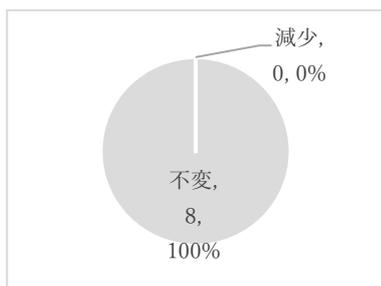
増加の見込みが半数近くあり、売上（利用）数の上昇は上昇すると窺える。

4、資金繰り



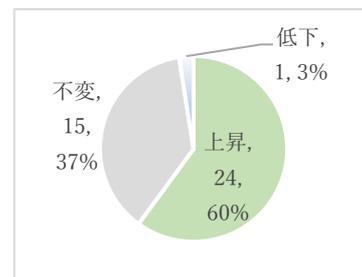
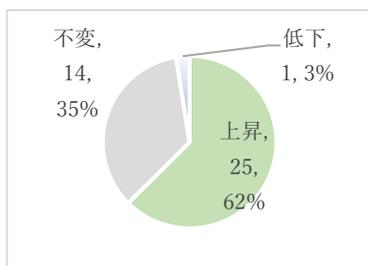
不変の回答が多いが、来年度同期は好転するとの回答も2割ある。

5、輸出額 ※回答は製造業のみ



不変の答えが多く、増加と答えたのはわずか2割弱となる。

6、仕入（材料・商品）単価



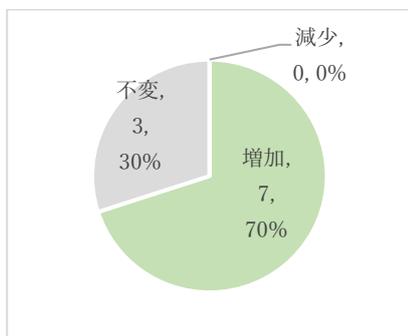
今年度上昇した、来年度も上昇すると回答・見込んでいる事業所が半数を超える。

【今年度の状況】

① 前年度同期に比べて

(R3年7月～R3年12月)

7、商品仕入れ額 ※回答は小売業のみ

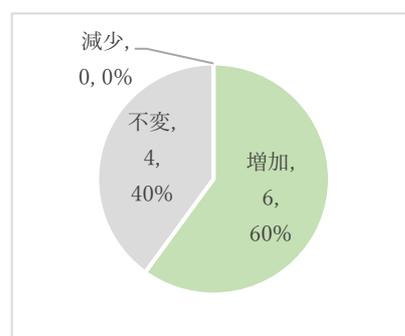


増加との回答は今期7割に達し、来期も引き続き増加する見込んでいる事業者が6割となっている。

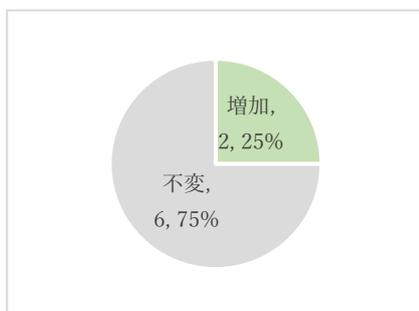
【来年度同期の見通し】

③今年度上半期と比べた来期の見通し

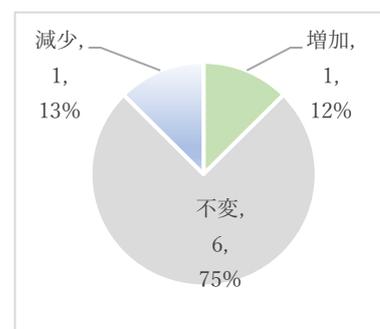
(R5年7月～R5年12月)



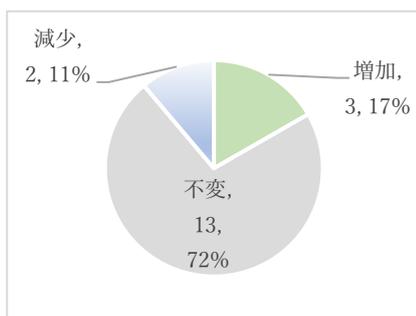
8、原材料在庫数量 ※回答は製造業のみ



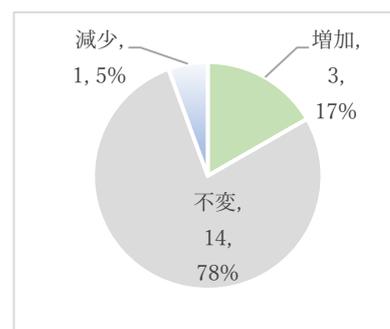
不変との回答が多数で在庫状況に大きな変動は見られない。



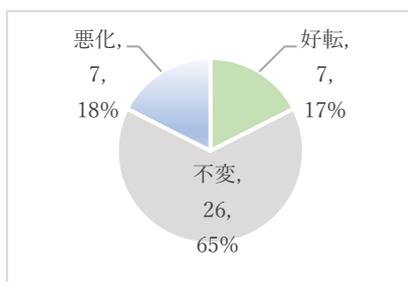
9、製品（商品）在庫数量 ※回答は製造業・小売のみ



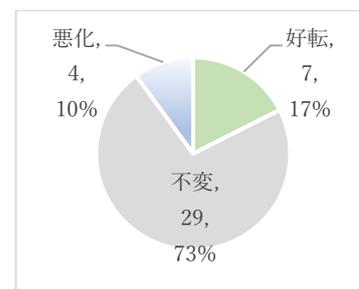
売上の増加に伴い製品（商品）在庫数量も増加の見込みが微増。生産量や販売数が増えているのが窺える。



10、採算（経常利益）



不変との回答が大多数で荒天と答えた方は2割弱だった。

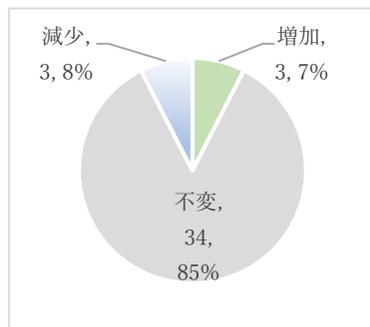


【今年度の状況】

① 前年度同期に比べて

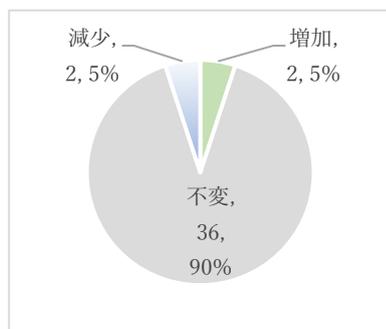
(R3年7月～R3年12月)

1 1、従業員（含臨時・パート）



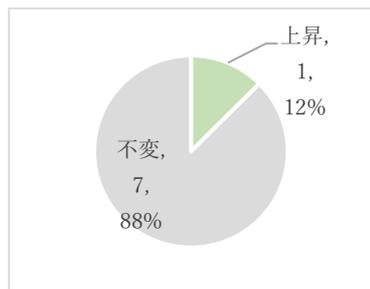
従業員は不変との回答が8割を超えており今後も増減の見込みは低い。

1 2、外部人材（請負・派遣）



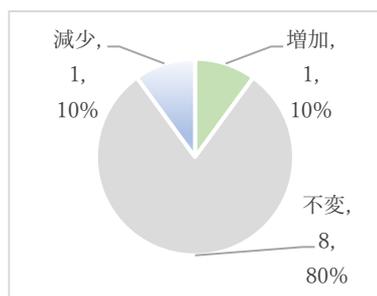
外部人材はあまり利用していないことが窺える。

1 3、設備操業率 ※回答は建設業のみ



不変の回答が多く、上昇の見込みが来期は多い。

1 4、引き合い ※回答は製造業・建設業のみ

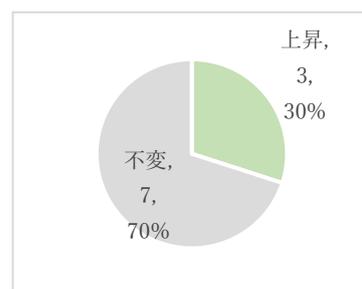
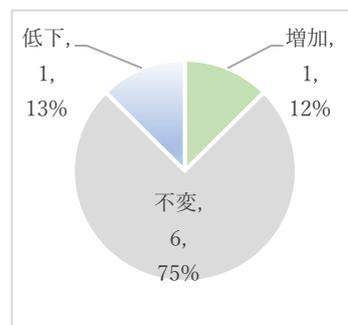
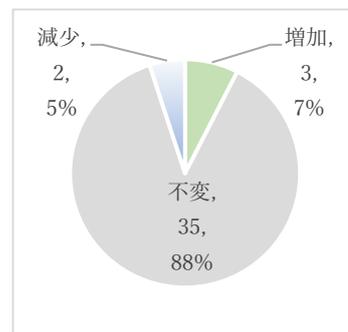


8割超が不変との回答だった。

【来年度同期の見通し】

③今年度上半期と比べた来期の見通し

(R5年7月～R5年12月)



【今年度の状況】

【来年度同期の見通し】

① 前年度同期に比べて

② 前期に比べて

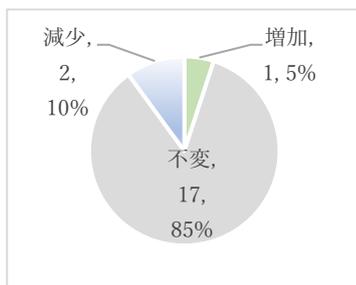
③ 今年度下半期と比べて来期の見通し

(R3年7月～R3年12月)

(R4年1月～R4年6月)

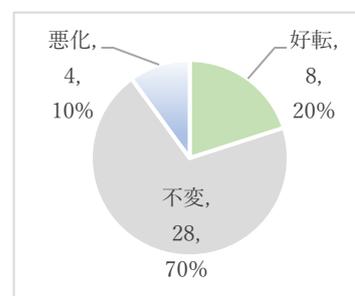
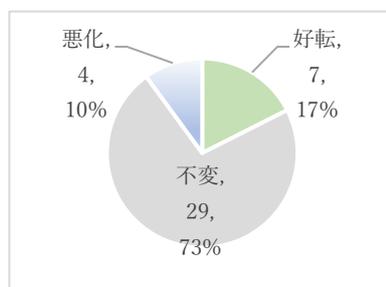
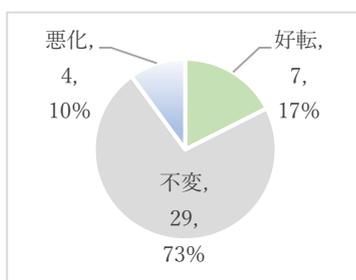
(R5年7月～R5年12月)

1.5、受注（契約）残 ※回答は製造業・建設業のみ



減少や増価の回答も見られたものの、不変との回答がほとんどだった。

1.6、業況（自社）



不変の回答が多いが、わずかに来期は好転すると回答も2割ある。

【今年度の状況】

【来年度同期の見通し】

② 前期に比べて

③ 今年度上半期と比べて来期の見通し

(R4年1月～R4年6月)

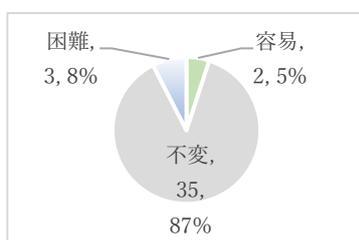
(R5年7月～R5年12月)

1.7、受取手形期間 ※回答は製造業・建設業のみ



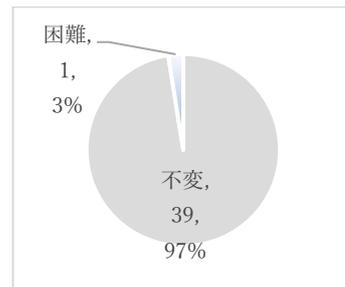
受取手形期間は回答無し／現在取引手段として手形取引が多くないことが窺える。

1.8、長期資金借入難度



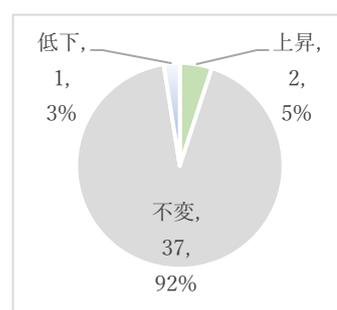
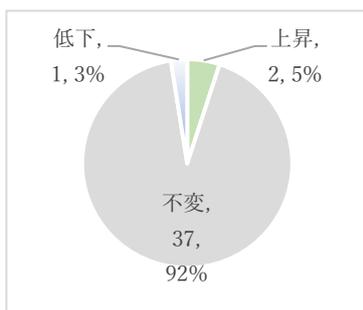
長期資金借入難度は9割が不変と回答し、来年度もほぼ同じ割合だった。

19、短期資金借入難度（含手形割引）



短期資金借入難度は9割が不変と回答し、来年度もほぼ同じ割合だった。

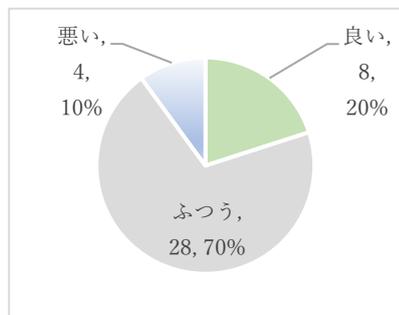
20、借入金利



借入金利に関し上昇と答えたのはどちらも2社のみで、不変との回答が大半を占めた。

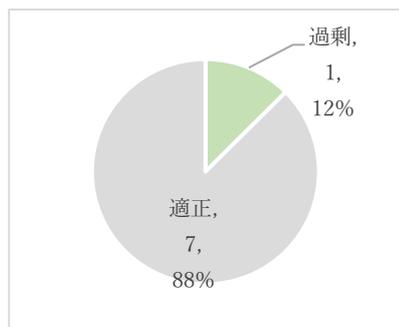
21、業況

今期の水準（R4年7月～R4年12月）



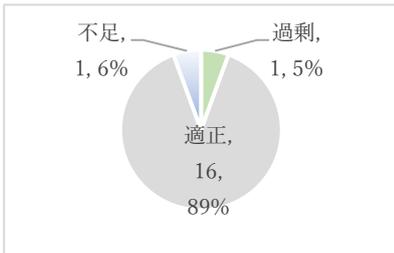
業況はふつうと答えた回答が大半だった。

22、生産に対する原材料在庫 ※回答は製造業のみ



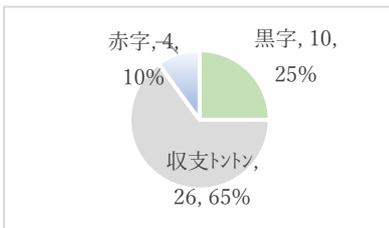
生産に対する原材料在庫は適正。

23、売上に対する製品在庫 ※回答は製造業・小売のみ



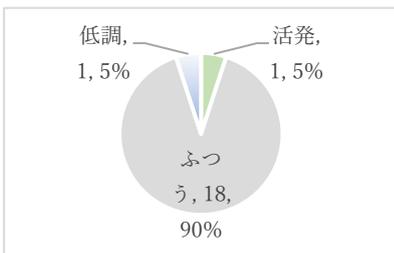
売上げに対する製品在庫に関しては不足や過剰と回答したのがわずか2社で概ね適正だといえる。

24、採算（経常利益）



採算（経常利益）において収支トントンは7割弱、黒字が2割強だった。

25、引き合い ※回答は製造業・建設業のみ



引き合いについてはふつうと答えた事業者がほとんどで、製造業・建設業がおおむね横ばいであることが窺える。

26、生産設備 ※回答は製造業のみ



生産設備においては9割弱が適正であると回答した。

27、従業員（含臨時・パート）

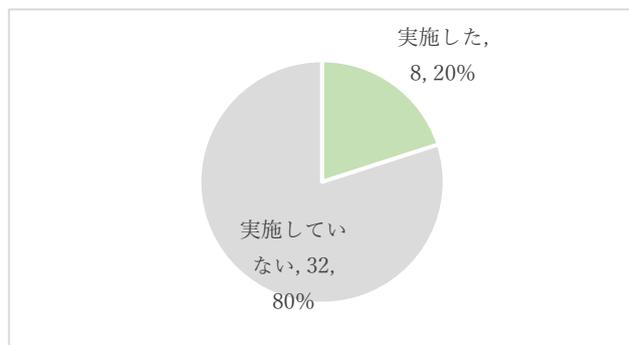


従業員は適正との回答が7割で、不足しているとの回答が3割だった。

質問：今年度上半期および今年度下半期の新規設備投資は、どのような状況ですか。

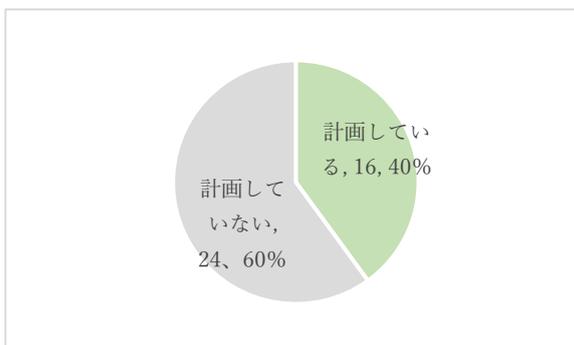
I. 今年度下半期（R4年7月～R4年12月期）

設備投資を



II. 来年度上半期（R5年1月～R5年6月期）

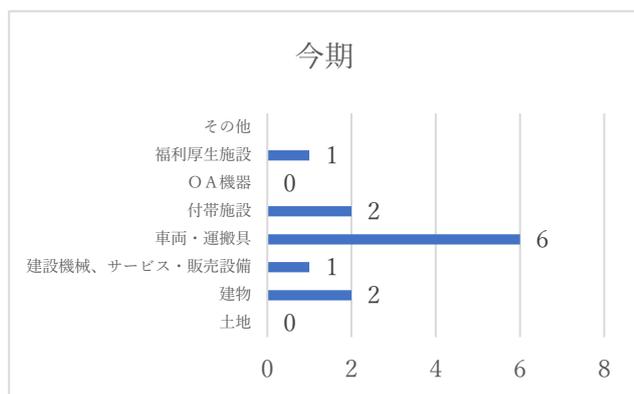
設備投資を



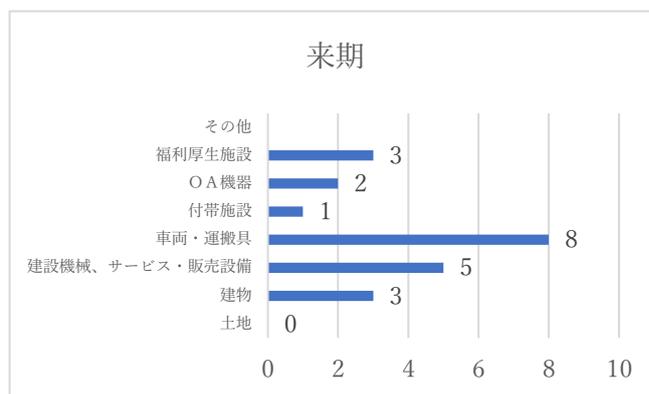
どちらも実施（計画）しないの割合が多い。

質問：新規設備投資がある場合、どのような投資内容ですか。

今期の実施内容



来期の計画内容



車両・運搬具等が主であり、他の設備投資を控えていることから必要最低限のものだけの投資に踏みとどまっている。

質問：今年度上半期に直面している経営上の問題点を3つ以内選んで、重要度の高い順に該当する番号を回答欄にご記入ください。

【建設業】

- 1位：材料価格の上昇（4票）
- 2位：請負単価の低下・上昇難、従業員の確保難（各2票）

【製造業】

- 1位：原材料価格の上昇（5票）
- 2位：製品ニーズの変化への対応、生産設備の不足・老朽化、従業員の確保難（各4票）
- 3位：新規参入業者の増加、需要の停滞、取引条件の悪化（各2票）

【サービス業】

- 1位：材料等仕入単価の上昇（7票）
- 2位：従業員の確保難、その他（各3票）
- 3位：利用料金の低下・上昇難、人件費の増加、熟練技術者の確保難、需要の停滞（各2票）

**【小売】**

1位：仕入単価の上昇、消費者ニーズの変化への対応、その他（各3票）

2位：同業者の進出、駐車場の確保難、人件費の増加、人件費以外の経費の増加、従業員の確保難（各2票）

4業種共通して挙げている課題が原材料価格の上昇、原材料等仕入れ単価の上昇となっている。

質問：業況の背景について、貴社が感じておられることを100文字程度でご記入ください。

**【製造業】**

電気代の上昇が価格にどれだけの影響を与えるかが不安。

材料の価格上昇と半導体不足等の影響による入手難などが仕事に影響している。

原材料の上昇もあり、異素材を用いた商品開発を計画している。SDGs等も考慮した素材、県内で調達できる素材での開発を考えている。

**【小売業】**

後継者がいないため借り入れができない。

アフターコロナに向けて世相の状況を判断しながら業務拡大に向けて動きたい。また人材確保に向けて注力したい。

コロナでの規制がなくなり、県外からのお客様も来店することが増え、全体的に客数が上がってきた。

コロナに関しては状況がよくなってきていると感じているが、ウクライナ侵攻からの国際紛争を機にサプライチェーンの崩壊又は円安での原材料値上がり等、企業が厳しい状況になると思われる。